

IPSuS



# エコアクション21

認証・登録証

認証・登録番号	0007931
認証・登録事業者	<b>株式会社神島組</b> 兵庫県西宮市甲風園3丁目9番5号
事業活動	土木・舗装・水道工事業（岩盤掘削工法の開発）
対象事業所	本社、北支店
認証・登録日	2012年1月23日
更新・登録日	2014年1月23日
有効期限	2016年1月22日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2009年版」(環境省)の  
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構

理事長

郡 篤



# 2012年度 環境活動レポート

(対象期間：2012年6月1日～2013年5月31日)



岩盤掘削工法  
ユニット破碎工法(特許)

株式会社神島組

発行日:2013年9月30日

1. 組織の概要と対象範囲

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社神島組  
代表取締役 神島 昭男

(2) 所在地

本社：兵庫県西宮市甲風園3丁目9番5号  
北支店：兵庫県神戸市北区道場町生野503番1

)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役総務部長 神島 充子  
環境管理担当者 工事部 浦地 力  
連絡先：TEL 0798-65-0121  
FAX 0798-64-1838

(4) 事業活動内容(認証・登録範囲)：土木・舗装・水道工事業(岩盤掘削工法の開発)、

(5) 事業規模

年間売上高 514百万円 (2009/6 ~ 2010/5)  
年間売上高 455百万円 (2010/6 ~ 2011/5)  
年間売上高 389百万円 (2011/5 ~ 2012/5)  
年間売上高 595百万円 (2012/6 ~ 2013/5)

	本社	北支店	資材倉庫	資材置き場 (合計)	合計
総従業員 2013.5.1現在	21人	1人	無人	無人	22人
延べ床面積	198㎡	30㎡	264㎡		492㎡
敷地面積	528m <sup>2</sup>	825m <sup>2</sup>	990m <sup>2</sup>	3300㎡	5643m <sup>2</sup>

(6) 建設現場等の概要 (2012/6 ~ 2013/5)

元請工事 8件  
下請工事 14件

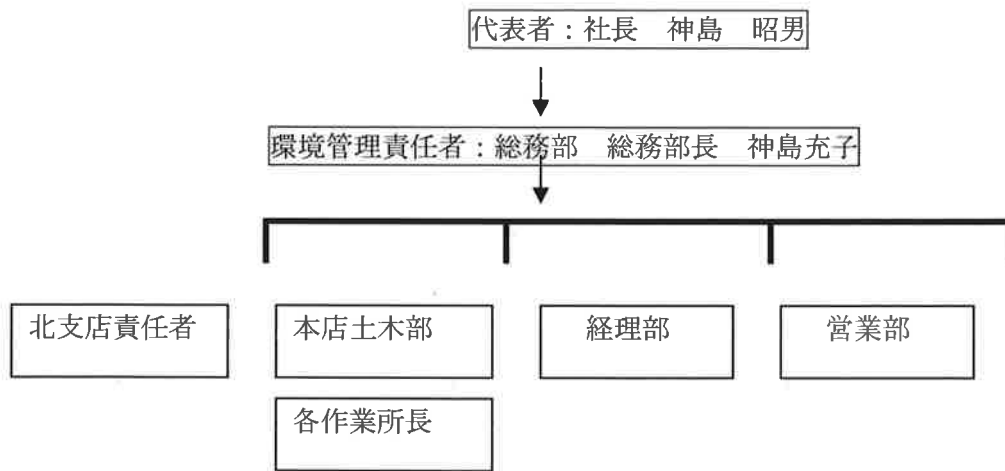
建設現場等の概要 (2009/6 ~ 2010/5) 元請工事 12件

建設現場等の概要 (2010/6 ~ 2011/5) 元請工事 10件

建設現場等の概要 (2011/6 ~ 2012/5) 元請工事 10件

(7) 事業年度 6月～翌年5月

[8] 環境経営システム組織図



## 2.環境方針

### 株式会社神島組 環境方針

当社の経営理念は「必要とされる企業」であり、建設作業に伴い地域住民に与える環境負荷、特に工事施工中に発生する公害（振動・騒音）抑える工法の開発に取り組み近隣住民に負荷の少ない工法により建設事業の円滑な活動を行い、地域社会への貢献に努め、地球環境の保護と事業の発展を両立させる建設活動に努めます。

#### 1. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。

- (1) 電力及び自動車燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
- (2) 廃棄物排出量の削減(一般廃棄物・産業廃棄物)
- (3) 排水量の削減
- (4) グリーン購入を促進。

#### 2. 建設事業を通じて近隣住民に負荷の少ない工法を開発し環境改善の推進。

- (1) 岩盤掘削に関する低騒音工法の開発技術を提供  
(クオーターセリ矢工法・かち割り君工法・静マル君・ユニット破碎工法・逆クサビ工法他特許36件)
- (2) 環境負荷を低減した工法の開発技術を提供。  
(草刈り君・スリット君による景観工法・木竹君・セパレート工法)

#### 2. 関係する環境法規等及び地元との協定を遵守します。

#### 3. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

改定日：2013年6月1日

制定日：2011年6月1日

株式会社 神島組  
代表取締役

神島昭男



### 3. 主な環境負荷の実績

項目(2011/6~2012/5)	単位	全社	本店	北支店
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	730,399	730,322	77
廃棄物排出量	トン	12	11.92	0.08
一般廃棄物量排出量	トン	0.5	0.495	0.005
産業廃棄物排出量	トン	2704	2704	0.00
総排水量	m <sup>3</sup>	711.0	711.0	0.00

※電力の二酸化炭素排出係数 0.294kg-CO<sub>2</sub>/kWh

### 4. 環境目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度 2011年 度実績	2012年度(6月~5月)			2013年度 目標	2014年度 目標	2015年度 目標
			目標	実績	(達成率)			
1.	電力使用量の削減	1.78 万kWh	1.76	1.952	(90.1%) 未達成	1.913 (△2%)	1.891 (△3%)	1.452 (△4%)
		5220 kg-CO <sub>2</sub>	5174 kg-CO <sub>2</sub>	5739 kg-CO <sub>2</sub>	(90.1%) 未達成	5624 kg-CO <sub>2</sub> (△2%)	5566 kg-CO <sub>2</sub> (△3%)	5509 kg-CO <sub>2</sub> (△4%)
2.	自動車ガソリンの削減	16268ℓ	12324 ℓ	21583 ℓ	(57%) 未達成	21151 ℓ (△2%)	21197 ℓ (△3%)	20719 ℓ (△4%)
		37769 kg-CO <sub>2</sub>	28613 kg-CO <sub>2</sub>	50109 kg-CO <sub>2</sub>	(57%) 未達成	49107 kg-CO <sub>2</sub> (△2%)	48605 kg-CO <sub>2</sub> (△3%)	48104 kg-CO <sub>2</sub> (△4%)
3.	節水	309 m <sup>3</sup>	289.5 m <sup>3</sup>	711 m <sup>3</sup>	(40.7%) 未達成	689.67 m <sup>3</sup> (△3%)	682.56 m <sup>3</sup> (△4%)	675.45 m <sup>3</sup> (△5%)
4.	一般廃棄物の削減	1.32t	0.838t	0.81 t	(103.4%) 達成	0.78t (△3%)	0.77t (△4%)	0.77t (△5%)
5.	産業廃棄物の97%リサイクル率の達成	336.13t	379.8t 97%達成	2704.1 t リサイクル率 99.5%	リサイクル率 (102.6%) 達成	リサイクル率 99.5%	リサイクル率 99.5%	リサイクル率 99.5%
6.	事務用品のグリーン購入拡大	28%	25%	27%	(27%) 達成	28 (%以上)	29 (%以上)	29 (%以上)
7.	省エネ機器の設置推奨	-	取替え時	-	-	-	-	-
8.	環境負荷を低減した工法の受注拡大	9件	10件	10件	(100%) 達成	11件	12件	13件

※1：二酸化炭素排出係数：0.294 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※2：グリーン購入額（158074円）÷全購入額（567879円）＝グリーン購入比率（27%）

※3：北支店の環境負荷率は、微小なため本店の活動に含める。

※4：業務拡大のため電気使用料の計画は、2012年度実績をベースに設置した。

## 5. 主要な環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	環境目標 (環境方針との関連)	環境活動計画の概要	取組結果の評価 (2012/6~2013/5)		次年度の取組 内容
1.	電力使用量の削減 (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの更新</li> <li>・空調設定温度の励行</li> <li>・使用時のみ点灯</li> </ul>	目標：1.76  実績：1.95 達成率：90.1% 達成 未達成	空調機の温度設定によりエネルギー節約となった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明を採用して目標を達成する</li> </ul>
2.	自動車ガソリン使用量の削減 (CO <sub>2</sub> 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄走りをしない。</li> <li>・同方向は相乗りする。</li> <li>・エンジンの掛けっぱなしをしない。</li> <li>・走行の工夫をする。</li> </ul>	目標：123240 28613 kg-CO <sub>2</sub> 実績：21583 達成率：57% 未達成	特許技術採用を受けて、遠隔地への通勤にかかるガソリンが増加した。	各自から更なる提案の提出を求める。
3.	節水 (総排水量削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水こまの設置</li> <li>・雨水貯留タンクの設置</li> <li>・節水意識の向上</li> </ul>	目標：289.5 m <sup>3</sup> 実績：711 m <sup>3</sup> 達成率：40.7% 未達成	節水に努めたが、現場での散水が増加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水の点検を2ヶ月毎に実施する</li> <li>・雨水貯留タンクを検討する</li> </ul>
4.	産業廃棄物の削減 (一般廃棄物) (廃棄物排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の削減</li> </ul>	目標：0.838t 実績：0.81t 達成率：103.4% 達成	分別の意識が浸透しリサイクルできた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別を更に徹底し、リサイクルを行う。</li> </ul>
5.	産業廃棄物の削減 (産業廃棄物) (廃棄物排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設現場での分別強化</li> <li>・一般廃棄物の持ち帰り</li> </ul>	目標 379.8t 実績：2704.1 t 達成率：リサイクル率 99.5%	分別の意識が浸透した リサイクル率のアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別を更に徹底する</li> </ul>
6.	事務用品のグリーン購入拡大 (グリーン購入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ラベル認定製品の優先購入</li> <li>・グリーン商品リストの作成</li> </ul>	目標：25%以上 実績：27% 達成度：108% 達成	グリーン対象製品の範囲を作業現場用品に拡大する	当面活動を継続して定着させる
7.	省エネ機器の設置推奨	取替え時の省エネ機器の設置推奨提案を積極的に行う	取り替え時	昨年は、2台の大型省エネ機器を設置した。	取替が必要な機器の検討
8.	環境負荷を低減した工法の受注の拡大 (低振動・低騒音工法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員が工法の説明を完璧にこなせるように、社内研修会を3回行いレベルアップをはかった。</li> </ul>	目標：10件以上 実績：10件 達成度：100% 達成	勝ち割り君・静マル君・トリプルセリ矢工法・法面セパレート工法	弊社のHPに、問い合わせが多くなってきているので受注に結びたい。

## 6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	主な法律名	遵守すべき主な要求事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A. B. D. E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守 遵守 遵守
2	建設工事にかかる資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律104号)	対象建設工事の届出書 分別解体の実施と再資源化 現場ごとに標識の掲示	遵守 遵守 遵守
3	振動規制法・騒音規制法 兵庫県環境の保全と創造に関する条例(法14条)	特定建設作業の届出 市町村長に7日までに 敷地境界線での規制基準85dBの順守	遵守 遵守 遵守
4	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)	特定特殊自動車の排出ガスの規定に従い対策型で対応し、車検証及び機種により確認する。	遵守 遵守
5	河川法(水質汚濁防止法昭和45年法律第138号)	河川への排水	河川工事なし
6	自動車NOX・PM法(平成4年法律第70号)	自社車両及び持ち込み車両の窒素酸化物の排出基準の適合を検査証及びステッカーにより確認する。	遵守

(順守確認日：平成25年9月30日)

### (2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21環境経営システムの運用の重要性は、原発という大きな社会問題が発生している背景において、全国民が電力消費の削減が求められる事態となった。全社員も更なる意識改革に取り組む姿勢が必要である。

設定したこれらの環境目標の達成はコストダウンにも直結しているため、是非継続実施をしてもらいたい。

尚ガソリンや産業廃棄物・総排出量等は、工事の受注数の増減や工事場所(遠近)による変動するは、当初より折込済みであったが、今年度は、特許工法の受注において遠隔地での受注となったのでガソリンの消費が増加したことと、猛暑の影響で、散水による排水量の増加と空き缶の増加につながったが、致し方がなかったと思っている。

お客様、周辺住民及び協力会社に対しても全面的な協力を得る必要があるため、引き続き全社員が率先して各自が取組目標を達成することが重要である。また当社の目指す事業は環境負荷の低減並びにコストダウンにも繋がる工法であるため、尚一層それらを留意して業務を遂行すること。

以上